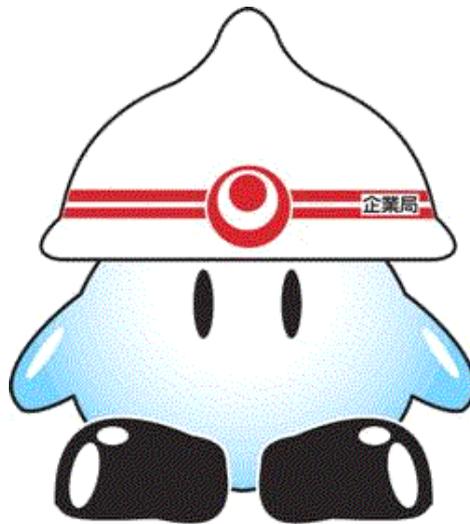


2026年度

水質検査計画



沖縄県企業局

2026年3月

2026年度水質検査計画

1 基本方針

水質検査には、水道法第 20 条に基づいて定期及び臨時に行う水質検査(法令に基づく水質検査)と、原水から浄水処理及び送水に至るまでの一連の水質管理について状況を確認する検査(企業局が独自に行う検査)があります。

水質検査計画は法令に基づく水質検査について作成するものですが、企業局が独自に行う検査についても、その重要性から、水質検査計画に位置づけて検査を行います。

(1) 検査地点について

検査地点は、水質基準が適用される受水事業体への受け渡し地点(以下、「供給点」と表記)、浄水場出口、浄水場入口及び水源とします(図 1、2、3 参照)。

(2) 検査項目について

検査項目は、水道法に基づく検査項目である「色及び濁り並びに消毒の残留効果」、「水質基準項目」、水質基準を補完する項目である「水質管理目標設定項目」及び原水の水質特性把握や水道水がより安全で良質であることを確認するために行う「その他必要項目」とします。

(3) 検査回数について

ア 法令に基づく水質検査について

沖縄本島(以下、「本島」と表記)の供給点並びに沖縄本島周辺離島の粟国村、南大東村、北大東村、渡嘉敷村、座間味村座間味地区、座間味村阿嘉/慶留間地区、伊平屋村及び伊是名村(以下、「離島 8 地点」)の供給点において、水道法に基づく色及び濁り並びに消毒の残留効果に関する検査を 1 日に 1 回行います(水道法施行規則第 15 条第 1 項第 1 号イ)。水質基準項目のうち、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物、pH 値、味、臭気、色度及び濁度の検査を 1 か月に 1 回行います(同項第 3 号イ)。また、ジェオスミン及び 2-メチルイソボルネオール(以下、「ジエオスミン」)の検査をおおむね 1 か月に 1 回行います(同項第 3 号ロ)。それ以外の水質基準項目の検査を 3 か月に 1 回以上行います(同項第 3 号ハ)。ただし、水質の状況から検査回数を減らすことができる項目については、原則 1 年に 1 回以上(同項第 3 号ハただし書き)検査を行います。なお、送水施設で濃度が上昇しないことが明らかであると認められる項目については、原則として供給点に代えて浄水場出口において検査を行います(同項第 2 号ただし書き)。

イ 企業局が独自に行う水質検査について

本島の浄水場出口(久志浄水場を除く)及び供給点において、水質管理目標設定項目、その他必要項目の検査を原則 3 か月に 1 回行います。なお、送水施設で濃度が上昇しないことが明らかであると認められる項目については、原則として供給点に代えて浄水場出口において検査

を行います。

本島の浄水場入口及び久志浄水場の出口・入口において、消毒副生成物を除く水質基準項目、水質管理目標設定項目、その他必要項目の検査を原則3か月に1回行います。

本島の水源において、消毒副生成物を除く水質基準項目、水質管理目標設定項目、その他必要項目の検査を原則1年に1回行います。ただし、水質管理上監視が必要な項目については、検査回数を増やします。

離島8地点の供給点において、水質管理目標設定項目の検査を1年に1回行います。

離島8地点の浄水場入口において、消毒副生成物を除く水質基準項目、水質管理目標設定項目、その他必要項目の検査を原則1年に1回行います。ただし、水質管理上監視が必要な項目については、検査回数を増やします。

離島の水源において、消毒副生成物を除く水質基準項目、水質管理目標設定項目、その他必要項目の検査を1年に1回行います。ただし、水質管理上監視が必要な項目については、検査回数を増やします。

2 水道用水供給事業の概要

2024年度の水道用水供給事業は、本島26市町村のうち22市町村(20市町村と1企業団)並びに伊江村、粟国村、座間味村阿嘉/慶留間地区、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村及び渡嘉敷村の計30市町村を対象としており、送水量で1日当たり427.2千 m^3 の水道用水を供給しました。座間味村座間味地区へは2025年度から水道用水の供給を開始しています(図4参照)。

本島浄水場(久志浄水場を除く)の概要を表1に、離島8地点における浄水場の概要を表2に示します(2025年度時点)。

表1 本島浄水場(久志浄水場を除く)の概要(2025年度時点)

浄水場名	名護浄水場	石川浄水場	北谷浄水場	西原浄水場
所在地	名護市 大北 3-28-36	うるま市 石川東恩納崎 1	北谷町 字宮城 1-27	西原町 字小那覇 1336
原水の種類	表流水	表流水 久志一次処理水 ^{※1}	表流水 地下水 久志一次処理水 ^{※1} 海水淡水化水	久志一次処理水 ^{※1}
浄水処理方法	急速ろ過 中間塩素処理 後塩素処理 粉末活性炭処理	急速ろ過 中間塩素処理 後塩素処理 オゾン処理 粒状活性炭処理 高速ろ過	急速ろ過 中間塩素処理 後塩素処理 オゾン処理 粒状活性炭処理	急速ろ過 中間塩素処理 後塩素処理
沈澱池	1系：横流式 2系：横流式 (傾斜板式)	横流式 (傾斜板式)	上向流式 (傾斜管式)	横流式 (傾斜板式)
ろ過池	砂ろ過単層	アンスラサイトと 砂ろ過の複層	アンスラサイトと 砂ろ過の複層	アンスラサイトと 砂ろ過の複層
処理能力(m ³ /日)	27,000	165,600	247,300	160,500

※1 久志浄水場で凝集沈澱処理した水

表2 離島8地点における浄水場の概要(2025年度時点)

浄水場名	粟国浄水場	南大東浄水場	北大東浄水場	渡嘉敷浄水場
所在地	粟国村 字南港原 567	南大東村 字南 1441-1	北大東村 字港 63-18	渡嘉敷村 字阿波連 500
原水の種類	海水	海水	海水	表流水
浄水処理方法	RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	MF 膜ろ過 中塩素処理 マンガン接触 ろ過 RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理
処理能力(m ³ /日)	462	725	404	580

浄水場名	座間味海水 淡水化施設	阿嘉浄水場	伊平屋浄水場	伊是名浄水場	
所在地	座間味村 字座間味 220-9	座間味村 字阿嘉 950-1	伊平屋村 字田名 3256	伊是名村 字仲田 314-4	
原水の種類	海水	海水	表流水	海水	表流水 地下水
浄水処理方法	前塩素処理 前処理ろ過 RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	UF 膜ろ過 RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	MF 膜ろ過 中塩素処理 マンガン接触 ろ過 RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	(海水系) MF 膜ろ過 RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理	(陸水系) MF 膜ろ過 中塩素処理 マンガン接触ろ過 RO 膜処理 ミネラル添加 後塩素処理
処理能力(m ³ /日)	600	438	817	海水系 508、陸水系 295 計 803	

3 水道の原水及び水道水の状況

本島の水道用水源は、表流水(ダム貯留水、河川水、貯留水)、地下水、久志一次処理水及び海水淡水化水からなります。本島におけるダムは、国管理の福地、新川、安波、普久川、辺野喜、大保、羽地、漢那及び金武ダムの9基と、県管理の倉敷ダム及び企業局管理の山城ダムで、合わせて11基あります。河川は、本島北部の武見川、座津武川、宇嘉川、辺野喜川、佐手川、佐手前川、与那川、宇良川、比地川、田嘉里川(以下、北部10河川と表記)、西屋部川、満名川、平南川、源河川、我部祖河川及び外堀田川、並びに本島中部の天願川、比謝川及び長田川で、合わせて19河川あります。地下水は、嘉手納井戸群等から構成されています。久志一次処理水は久志浄水場で凝集沈澱処理した水です。海水淡水化水は、北谷浄水場海水淡水化センターで海水淡水化処理した水です。

離島の水道用水源は、表流水、地下水及び海水からなります。離島におけるダム等は、県管理の我喜屋ダム(伊平屋村)、各村が管理するイシッピ取水堰(渡嘉敷村)、大川取水堰(渡嘉敷村)、恩納川取水堰(渡嘉敷村)、天城ダム(伊是名村)及びメンナー山貯水池(伊是名村)があります。地下水は、伊平屋村の井戸があります。また、粟国、南大東、北大東、座間味、阿嘉及び伊是名浄水場では海水を水源としています。

2024年度の日平均取水実績は、ダム水382.6千 m^3 (全体の84.2%)、河川水38.3千 m^3 (同8.4%)、地下水14.7千 m^3 (同3.2%)、海水淡水化水13.3千 m^3 (同2.9%)、離島5.4千 m^3 (同1.2%)、合計454.4千 m^3 でした。

企業局水源における原水の汚染要因と、水質管理上注意すべき項目を表3に示します。浄水場では、原水の汚染要因を踏まえて、適正な浄水処理を徹底して行っています。水道水は、これまでの検査結果から水質基準を満足しています。

表3 企業局水源別汚染要因と水質管理上注意すべき項目

区分	ダム水等	河川水	地下水	海水淡水化水
対象水源	大保ダム(大保) 羽地ダム(羽) 金武ダム(金) 山城ダム(山) 我喜屋ダム(我) イシッピ取水堰(イ) 大川取水堰(大川) 恩納川取水堰(恩) 天城ダム(天城) ムナ山貯水池(メ)	与那川(与) 宇嘉川(宇嘉) 宇良川(宇良) 田嘉里川(田) 西屋部川(西) 満名川(満) 平南川(平) 源河川(源) 天願川(天願) 比謝川(比) 長田川(長)	嘉手納井戸群	海水
原水の汚染要因	<ul style="list-style-type: none"> ・富栄養化の進行 ・農薬散布(金、山) ・かび臭(大保、羽、金、我、イ、大川、恩、天城、メ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海水混入(宇良、田、平、源) ・農薬散布(宇嘉、満、平、天願、比、長) ・事業所排水(天願、比、長) ・油汚染(天願、比、長) ・畜舎排水(天願、比、長) ・かび臭(与、平、源) 		
水質管理上注意すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> ・トリハロメタン生成能 ・農薬類 ・ジエオスミン ・2-メチルイソボルネオール 	<ul style="list-style-type: none"> ・塩化物イオン ・農薬類 ・塩素要求量 ・ジエオスミン ・クリプトスポリジウム ・ジアリジア ・有機フッ素化合物 	<ul style="list-style-type: none"> ・水銀 ・総硬度 ・有機フッ素化合物 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホウ素 ・臭素酸 ・pH ・総硬度 ・ランゲリア指数

4 検査地点(臨時の水質検査を除く)

(1) 供給点(図1、3参照)

各浄水場の送水系統を考慮し、本島で11地点、離島8地点の合計19地点で検査を行います。水道法に基づく「色及び濁り並びに消毒の残留効果」に関する検査についても自動計測機器を用いて同地点で行います。

本島11地点において送水施設で濃度が上昇しないことが明らかであると認められる水質基準20項目(No.3～5、7、9、11～21、41、42、45、46)については、供給点に代えて浄水場出口で検査を行います(水道法施行規則第15条第1項第2号ただし書き)。

(2) 浄水場の出口と入口(図1、3参照)

浄水処理が適正に行われていることを確認するため、浄水場の出口と入口で水質の検査を行います。ただし、離島8地点の浄水場出口については、供給点と一対一の関係であることから、浄水場出口の検査に代えて供給点で検査を行います。

(3) 水源(図2、3参照)

水源水質は浄水場における浄水処理に影響を与えることから、安全で良質な水道水を供給するため、水源の水質検査を行います。水源における水質検査は原則として取水地点において行います。ただし、原水が海水である場合は、上述(2)の浄水場入口で水質検査を行います。

5 検査項目とその検査回数(臨時の水質検査を除く)

(1) 法令に基づく水質検査について

ア 色及び濁り並びに消毒の残留効果に関する検査(別表1)

供給点において、色及び濁り並びに消毒の残留効果に関する検査を1日1回行います。

イ 水質基準項目(別表2、3-1、3-2)

供給点及び供給点に代えて検査を行う浄水場出口において、水質基準項目の水質検査を次のとおり行います。

- ① 水質基準項目 No.1、2、39、47～52 の検査を1か月に1回行います(水道法施行規則第15条第1項第3号イ)。
- ② No.43、44 の検査を、本島、渡嘉敷村、伊平屋村及び伊是名村の供給点においてはおおむね1か月に1回行います(同号ロ)。また、粟国村、南大東村、北大東村、座間味村座間味地区及び座間味村阿嘉/慶留間地区の供給点については、水源である海水についてカビ臭物質を産出する藻類の発生が少なく、供給点においても過去に検出されたことがないことから、1年に1回検査を行います。
- ③ No.3～38、40～42、45、46 の検査を原則3か月に1回行います(同号ハ)。ただし、No.3～9、11～21、33～38、40～42、45、46 については、過去3年間の検査結果の最高値が

基準値の 1/10 以下の場合には 3 年に 1 回まで、1/5 以下の場合には 1 年に 1 回まで検査回数を減らすことができる(同号ハただし書き)ことから、各地点において次のように扱います。

- ・水源が多様な本島においては、水質が安定し良好であることを確認するため、これらの項目についても 3 か月に 1 回検査を行います。
- ・粟国村、南大東村、北大東村及び座間味村阿嘉/慶留間地区においては、過去 3 年間の検査結果の最高値が基準値の 1/5 以下の場合には 1 年に 1 回検査を行います。ただし、No.37 は最高値が基準値の 1/5 付近で推移しているため、原則 3 か月に 1 回検査を行います。また、座間味村阿嘉/慶留間地区において、No.6 及び No.8 は最高値が基準値の 1/5 を超えているため、原則 3 か月に 1 回検査を行います。
- ・渡嘉敷村、座間味村座間味地区、伊平屋村及び伊是名村については、過去 3 年間に於いて、水源の種別、取水地点又は浄水方法に変更があるため原則 3 か月に 1 回検査を行います。

(2) 企業局が独自に行う水質検査について

ア 水質基準項目（別表 4、5、6）

本島及び離島浄水場入口並びに久志浄水場出口において、水質基準項目 No.22～32 は消毒副生成物、No.49 は味であることから検査を省略します。その他項目については、次のとおり検査を行います。

本島の浄水場入口（久志浄水場を除く）において、浄水処理工程における適正な水質管理のため、水質基準項目 No.1～19、21、33～39、42～48、50～52 の検査を法令に基づく水質検査と同じ回数で行います。No.20、40 の検査は浄水場出口と同じ回数で行います。No.41 の検査については、性状確認のため 1 年に 1 回行います。

久志浄水場出口及び入口において、水質基準項目の検査を 3 か月に 1 回行うことを基本とし、水質特性に応じて特定項目は 1 か月に 1 回又は 1 年に 1 回検査します。

水源が海水のみである粟国村、北大東村、南大東村、座間味村座間味地区、座間味村阿嘉/慶留間地区及び伊是名村（海淡水系）の浄水場入口において、水質基準項目 No.1～21、33～48、50～52 の検査を 1 年に 1 回行います。水源が陸水系である渡嘉敷村、伊平屋村及び伊是名村（陸水系）の浄水場入口において、浄水処理工程における適正な水質管理のため、水質基準項目 No.35、38、40、43、44、47、48、50～52 の検査を法令に基づく水質検査と同じ回数で行います。その他項目について、1 年に 1 回行うことを基本とし、水質特性に応じて特定項目の検査回数を増やします。

本島及び離島の水源において、入口と同じ項目を 1 年に 1 回行うことを基本とし、水質特性に応じて特定項目の検査回数を増やします。

イ 水質管理目標設定項目（別表 7、8、9）

企業局では浄水処理に二酸化塩素を使用していないため、項目 No.10、12 の検査を省略します。また、項目 No.23（臭気強度）については、異臭が発生した場合に行います。項目 No.15

(農薬類)については、沖縄県内で流通し、検査体制が整っている農薬の検査を1年に1回以上行います。

本島の供給点、浄水場出口及び浄水場入口において、水質管理目標設定項目の水質検査を水質基準項目の検査回数に準じて原則3か月に1回行います。ただし、水質管理上監視が必要な項目については、検査回数を増やします。

粟国村、北大東村、南大東村、渡嘉敷村、座間味村座間味地区、座間味村阿嘉/慶留間地区、伊平屋村及び伊是名村の供給点において、水質管理目標設定項目の水質検査を水質基準項目の検査回数に準じて1年に1回以上行います。

また、水源において、水質管理目標設定項目の水質検査を必要な回数で行います。

ウ その他必要項目(別表10、11、12)

本島の供給点、浄水場出口、浄水場入口及び水源、並びに離島の供給点、浄水場入口及び水源において、原水の水質特性把握や水道水がより安全で良質であることを確認するために必要な項目の水質検査を必要な回数で行います。

6 臨時の水質検査

臨時の水質検査とは、水道法第20条第1項及び水道法施行規則第15条第2項に基づき行う検査のことです。

供給している水が、以下のようなことから水質基準に適合しないおそれがある場合は、水質基準項目について臨時の水質検査を行います。

- ① 水源の水質が著しく悪化したとき。
- ② 水源に異常があったとき。
- ③ 水源付近、給水区域及びその周辺等において消化器系伝染病が流行しているとき。
- ④ 浄水過程で異常があったとき。
- ⑤ 配水管の大規模な工事その他水道施設が著しく汚染されたおそれがあるとき。
- ⑥ その他、特に必要があると認められるとき。

検査に供する水の採水地点は、供給点を原則としますが、供給点で採水できない場合には、供給している水が水質基準に適合するかを判断できる場所を別途選定します。

検査項目は、水質基準に適合しないおそれがある項目及びそれに関連する項目を適宜選択します。

7 水質検査方法

(1) 自己検査

水質検査は、原則自己検査とし、水質基準項目の検査方法は国が定めた水道水の検査方法「水質基準に関する省令の規定に基づき環境大臣が定める方法」、水質管理目標設定項目の検査方法は「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理におけ

る留意事項について」、その他必要項目の検査方法は「上水試験方法(日本水道協会)」等に記載されている検査方法で行います。

なお、浄水場入口、久志浄水場出口及び水源における「ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)」並びに要検討 PFAS については、「水道水質検査方法の妥当性評価ガイドライン」に基づいて妥当性を評価した企業局独自の検査方法を採用しています。

(2) 委託検査

海水を水源とする粟国、南大東、北大東、座間味、阿嘉浄水場及び伊是名浄水場海水系入口における水質検査は、原則委託検査とします。委託先については、水道 GLP 認定を受けた機関もしくは水道法第 20 条に基づく水質検査機関として厚生労働省の登録を受けた機関で当水質管理事務所と同等の技術水準が確保できている機関に依頼します。

8 水質検査結果の評価及び公表

(1) 水質検査結果の評価

水道水については水質基準に適合していることを確認します。原水や工程水については、原水の異常の有無や浄水処理が適切に行われていることを確認します。加えて、より安全・安心な水道水を提供するため、「水安全計画※」を策定し、そこで定めた管理基準に照らして検査結果を評価します。

※ 「水安全計画」とは、食品製造分野で確立されている HACCP の考え方を導入し、水源から給水栓に至る全ての段階で危害評価と危害管理を行い、安全な水の供給を確実にする水道システムを構築したものの。

(2) 水質検査結果の公表

水質検査計画に基づき行った水質検査の結果は、迅速に企業局ホームページで公表します。また、詳細な結果を加えた水質年報を作成し、翌事業年度中に企業局ホームページで公表します。

沖縄県企業局ホームページ

水質検査結果(<https://www.cb.pref.okinawa.jp/water/80/181>)

水質年報(<https://www.cb.pref.okinawa.jp/water/80/306>)

9 水質検査の精度と信頼性保証

検査項目は、微生物から化学物質まで多岐にわたっており、その検査は、極微量レベルの測定が求められています。水質検査の結果は、水道水の安全性を保証する基礎となるもので、その測定値は、正確で信頼性が高いことが必要なため、以下の取り組みを実施します。

(1) 水質検査の精度

原則として基準値及び目標値の 1/10 の定量下限が得られ、基準値及び目標値の 1/10 付近の測定において、変動係数(CV)が無機物では 10%以下、有機化合物では 20%以下の精度で水質検査を行います。

(2) 信頼性保証

水質管理事務所では水質検査結果の信頼性を確保するため、正確かつ精度の高い検査体制を整備しています。この体制を保証するため、2009 年 5 月に水道 GLP^{*}の認定を取得し、2025 年 10 月に四度目となる認定の更新が認められました。さらに、毎年、国が実施する精度管理に参加し、その評価を受けて信頼性の向上に努めています。なお、水道 GLP 認定の範囲は、水道水・浄水における水道水質基準項目です。

※ 水道 GLP(Good Laboratory Practice)とは、『水道水質検査優良試験所規範』の略称です。(公社)日本水道協会が水質検査結果の信頼性を確保することを目的として、品質管理の国際規格である「ISO9001」と、技術力の証明になる試験所認定規格の「ISO/IEC17025」を取り入れて水道の水質検査に特化して認定を行うものです。



10 関係機関との連携

水道に係る水質事故が発生した場合は、関係機関と情報交換等の連携を図りながら、現場調査や水質検査等を行い、的確な措置を実施することにより、常に安全な水道水を供給していきます。

11 水質検査計画の見直し

水質検査計画は、水質検査結果や、水道を利用される方々及び受水事業体の意見をふまえて毎年見直しを行い、事業年度開始前に企業局ホームページで公表します。

沖縄県企業局ホームページ

水質検査計画(<https://www.cb.pref.okinawa.jp/water/80/91>)

この水質検査計画について、みなさまのご意見をお寄せ下さい。
みなさまのご意見は、今後の水質検査計画作成の参考にさせていただきます。

ご意見・お問い合わせはこちらまで
沖縄県企業局 水質管理事務所
〒904-1108 うるま市石川東恩納崎 1 番地
TEL 098 (989) 1012 FAX 098 (989) 1013
E-mail : suishitsu@cb.pref.okinawa.lg.jp

図 1 本島における検査地点（浄水場及び供給点）

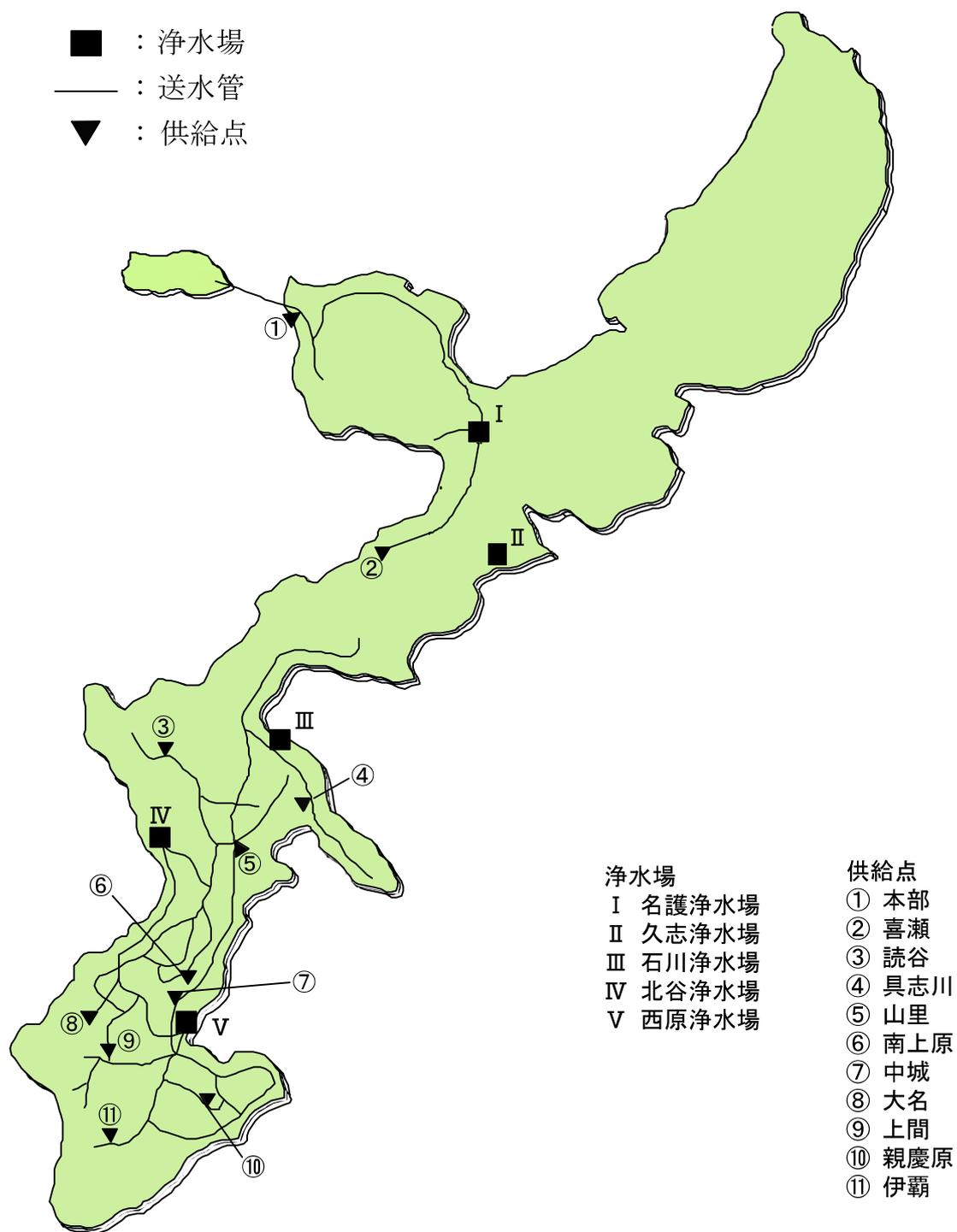


図2 本島における検査地点（水源）

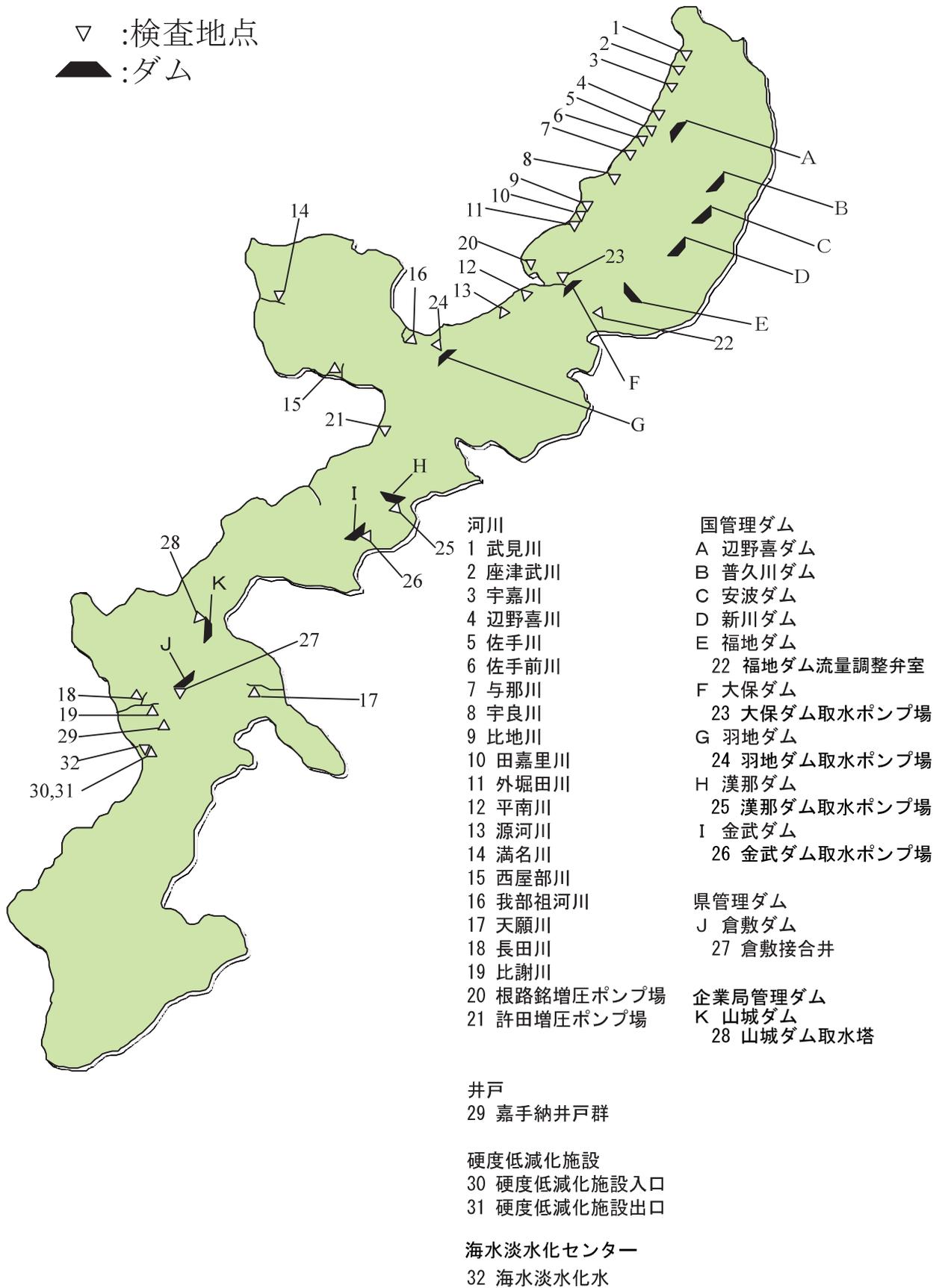


図3 離島8地点における検査地点

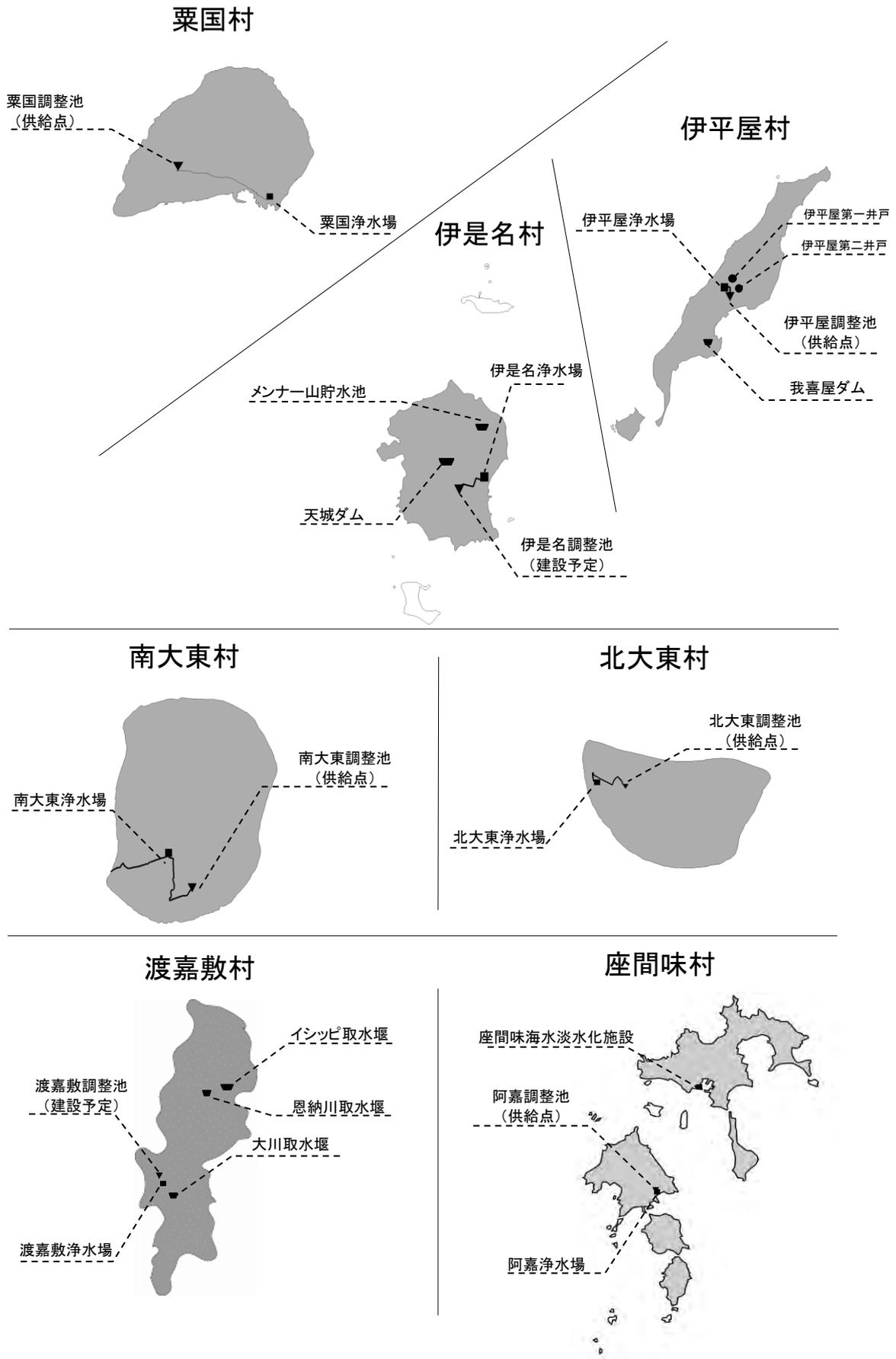


図4 水道用水供給対象市町村図

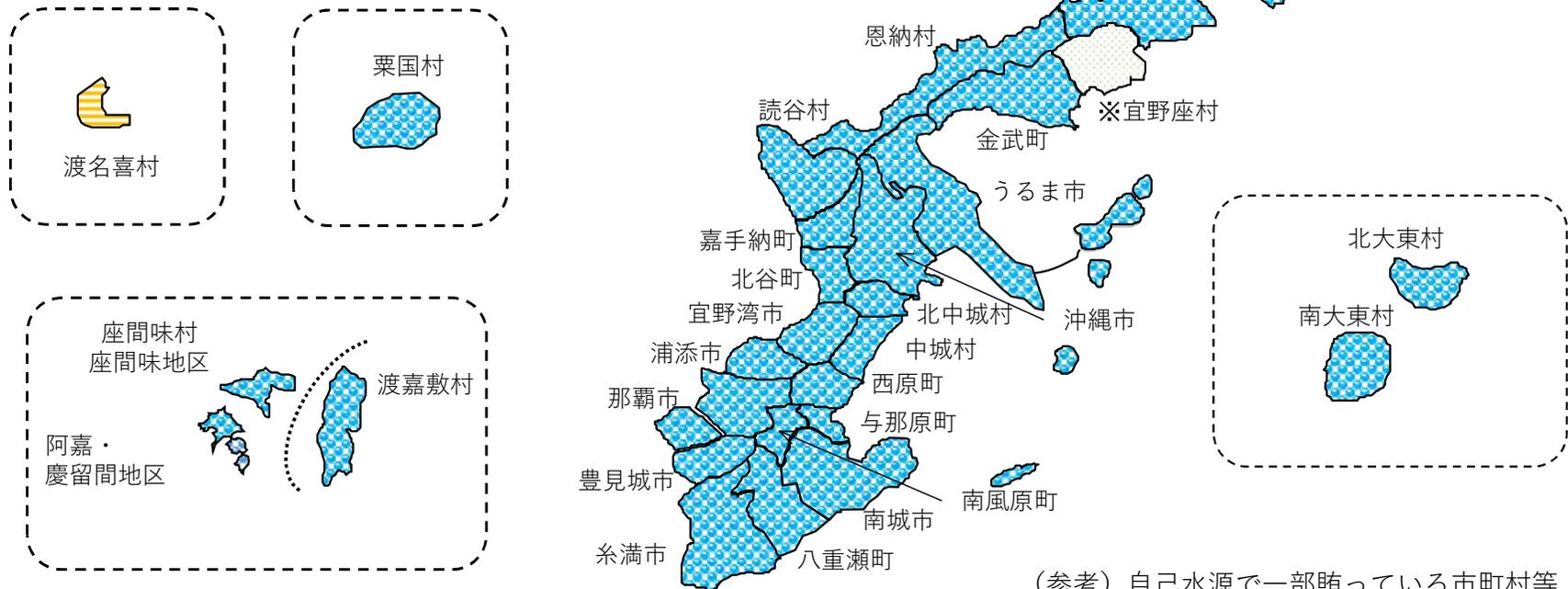
給水区域別
(凡例)

-  水道用水供給市町村(現況)
-  水道用水供給市町村(拡大対象)
-  水道用水供給対象外

※作図上、離島の位置を移動している

2025年度の水道用水供給対象市町村は、沖縄本島26市町村のうち22市町村（※国頭村、大宜味村、東村、宜野座村を除く20市町村と1企業団）と、伊江村、渡嘉敷村、粟国村、南大東村、北大東村、座間味村、伊平屋村及び伊是名村を含む計30市町村となっています。

2025年度から座間味村座間味地区が加わっています。



(参考) 自己水源で一部賄っている市町村等
今帰仁村、本部町、伊江村、名護市、金武町及び
南部水道企業団(南風原町及び八重瀬町)

別表1 法令に基づく水質検査(1日1回行う水質検査)

項目 No.	1日1回行う水質検査項目	評価	検査計画回数 (回/年)
			供給点
1	色	異常無	365
2	濁り	異常無	365
3	消毒の残留効果(残留塩素)	0.1mg/L以上	365

別表2 法令に基づく水質検査－水質基準項目【本島における供給点、浄水場出口】

項目No.	水質基準項目	基準値 (mg/L)	省令による 検査回数	供給点		浄水場出口				検査回数の設定理由
				名護 石川 西原		北谷				
				過去3年間 (2022-2024) 最高値 (mg/L)	検査計画回数 (回/年)	過去3年間 (2022-2024) 最高値 (mg/L)	検査計画回数 (回/年)	過去3年間 (2022-2024) 最高値 (mg/L)	検査計画回数 (回/年)	
1	一般細菌	100個/ml	月1回	3個/ml	12	0個/ml	(12)	0個/ml	(12)	
2	大腸菌	不検出		不検出	12	不検出	(12)	不検出	(12)	
3	カドミウム及びその化合物 ^{※3}	0.003	年4回 年1回 ^{※1} 3年に1回 ^{※2}	-	-	0.0003未満	4	0.0003未満	4	
4	水銀及びその化合物 ^{※3}	0.0005		-	-	0.00005未満	4	0.00005未満	4	
5	セレン及びその化合物 ^{※3}	0.01		-	-	0.001未満	4	0.001未満	4	
6	鉛及びその化合物	0.01		0.001未満	4	0.001未満	(4)	0.001未満	(4)	
7	ヒ素及びその化合物 ^{※3}	0.01		-	-	0.001未満	4	0.001未満	4	
8	六価クロム化合物	0.02		0.002未満	4	0.002未満	(4)	0.002未満	(4)	
9	亜硝酸態窒素 ^{※3}	0.04		-	-	0.004未満	4	0.004未満	4	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01		0.001未満	4	0.001未満	(4)	0.001未満	(4)	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 ^{※3}	10		-	-	0.16	4	0.40	4	
12	フッ素及びその化合物 ^{※3}	0.8		-	-	0.08未満	4	0.08未満	4	
13	ホウ素及びその化合物 ^{※3}	1	-	-	0.032	4	0.305	4		
14	四塩化炭素 ^{※3}	0.002	-	-	0.0002未満	4	0.0002未満	4		
15	1,4-ジオキサン ^{※3}	0.05	-	-	0.005未満	4	0.005未満	4		
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン ^{※3}	0.04	年4回 年1回 ^{※1} 3年に1回 ^{※2}	-	-	0.004未満	4	0.004未満	4	
17	ジクロロメタン ^{※3}	0.02		-	-	0.002未満	4	0.002未満	4	
18	テトラクロロエチレン ^{※3}	0.01		-	-	0.001未満	4	0.001未満	4	
19	トリクロロエチレン ^{※3}	0.01		-	-	0.001未満	4	0.001未満	4	
20	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタネン酸(PFOA) ^{※3}	0.00005	-	-	0.000001未満	4	0.000006	12	北谷浄水場出口は安全確認等のため、年12回検査します	
21	ベンゼン ^{※3}	0.01	-	-	0.001未満	4	0.001未満	4	濃度が高くなる時期は調査します	
22	塩素酸	0.6	年4回	0.18	4	0.19	(4)	0.064		(4)
23	クロロ酢酸	0.02		0.002未満	4	0.002未満	(4)	0.002未満		(4)
24	クロロホルム	0.06		0.017	4	0.009	(4)	0.003		(4)
25	ジクロロ酢酸	0.03		0.006	4	0.003	(4)	0.002未満		(4)
26	ジブロモクロロメタン	0.1		0.021	4	0.013	(4)	0.010		(4)
27	臭素酸	0.01		0.002	4	0.002	(4)	0.001未満		(4)
28	総トリハロメタン	0.1		0.051	4	0.028	(4)	0.022		(4)
29	トリクロロ酢酸	0.03		0.005	4	0.003	(4)	0.002未満		(4)
30	ブロモジクロロメタン	0.03		0.017	4	0.010	(4)	0.006		(4)
31	ブロモホルム	0.09		0.015	4	0.005	(4)	0.005	(4)	
32	ホルムアルデヒド	0.08	0.008未満	4	0.008未満	(4)	0.008未満	(4)		
33	亜鉛及びその化合物	1	年4回 年1回 ^{※1} 3年に1回 ^{※2}	0.007	4	0.005未満	(4)	0.005未満	(4)	
34	アルミニウム及びその化合物	0.2		0.062	4	0.055	(4)	0.04	(4)	
35	鉄及びその化合物	0.3		0.016	4	0.01未満	(4)	0.01未満	(4)	
36	銅及びその化合物	1		0.01未満	4	0.01未満	(4)	0.01未満	(4)	
37	ナトリウム及びその化合物 ^{※3}	200		40.2	4	18.9	(4)	35.8	(4)	
38	マンガン及びその化合物	0.05	0.001	4	0.002	(4)	0.001未満	(4)		
39	塩化物イオン	200	月1回 年4回 ^{※4}	57.6	12	31.9	(12)	54.4	(12)	北谷浄水場出口は性状確認等のため、年12回検査します
40	カルシウム、マグネシウム等(硬度) ^{※3}	300	年4回 年1回 ^{※1} 3年に1回 ^{※2}	69	4	44	(4)	104	(12)	
41	蒸発残留物 ^{※3}	500	-	-	116	4	173	4		
42	陰イオン界面活性剤 ^{※3}	0.2	-	-	0.02未満	4	0.02未満	4		
43	ジェオスミン	0.00001	0.000004	12	0.000005	(12)	0.000001未満	(12)		
44	2-メチルイソボルネオール	0.00001	月1回 ^{※5}	0.000005	12	0.000003	(12)	0.000001未満	(12)	
45	非イオン界面活性剤 ^{※3}	0.02	年4回 年1回 ^{※1} 3年に1回 ^{※2}	-	-	0.005未満	4	0.005未満	4	
46	フェノール類 ^{※3}	0.005	-	-	0.0005未満	4	0.0005未満	4		
47	有機物(全有機炭素の量)	3	月1回 年4回 ^{※4}	1.2	12	1.2	(12)	0.9	(12)	
48	pH値	5.8~8.6		6.9~8.0	12	7.3~7.6	(12)	6.9~7.4	(12)	
49	味	異常でない		異常でない	12	異常でない	(12)	異常でない	(12)	
50	臭気	異常でない		異常でない	12	異常でない	(12)	異常でない	(12)	
51	色度	5度		0.5未満	12	0.5	(12)	0.5未満	(12)	
52	濁度	2度		0.1未満	12	0.1未満	(12)	0.1未満	(12)	

備考

- 検査計画回数のうち、網掛け部分は水道法に基づく検査、()書きは独自に行う検査。
 ※1 基準値の1/5以下で原水等の変動による汚染の恐れがない場合(水道法施行規則第15条第1項第3号ハ)。
 ※2 基準値の1/10以下で原水等の変動による汚染の恐れがない場合(同項3号ハ)。
 ※3 送配水施設で濃度が上昇しないことが確認される場合、浄水場出口での採水が可能(同項第2号)。
 ※4 一定の要件を満たす場合は年4回まで検査回数減が可能(同項第3号イ)。
 ※5 過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、かつ、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められる場合、省略可能(同項第4号)。

別表3-1 法令に基づく水質検査－水質基準項目【離島供給点 粟国・南大東・北大東・阿嘉】

項目No.	水質基準項目	基準値 (mg/L)	省令による 検査回数	粟国 南大東 北大東		阿嘉		検査回数の設定理由	
				過去3年間 (2022-2024) 最高値	検査計画回数 (回/年) ^{※1}	過去3年間 (2022-2024) 最高値	検査計画回数 (回/年) ^{※1}		
				(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)		
1	一般細菌	100個/ml	月1回	2個/ml	12	0個/ml	12		
2	大腸菌	不検出		不検出	12	不検出	12		
3	カドミウム及びその化合物	0.003	年4回 年1回 ^{※2} 3年に1回 ^{※3}	0.0003未滿	1	0.0003未滿	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します	
4	水銀及びその化合物	0.0005		0.00005未滿	1	0.00005未滿	1		
5	セレン及びその化合物	0.01		0.001未滿	1	0.001未滿	1		
6	鉛及びその化合物	0.01		0.001未滿	1	0.003	4		
7	ヒ素及びその化合物	0.01		0.001未滿	1	0.001未滿	1		
8	六価クロム化合物	0.02		0.002未滿	1	0.005	4		
9	亜硝酸態窒素	0.04		0.004未滿	1	0.004未滿	1		
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01		0.001未滿	4	0.001未滿	4		
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10		0.04	1	0.02未滿	1		過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します
12	フッ素及びその化合物	0.8	0.08未滿	1	0.08未滿	1			
13	ホウ素及びその化合物	1	0.78	4	0.99	4	濃度が高くなる時期は調査します		
14	四塩化炭素	0.002	年4回 年1回 ^{※2} 3年に1回 ^{※3}	0.0002未滿	1	0.0002未滿	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します	
15	1,4-ジオキサン	0.05		0.005未滿	1	0.005未滿	1		
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04		0.004未滿	1	0.004未滿	1		
17	ジクロロメタン	0.02		0.002未滿	1	0.002未滿	1		
18	テトラクロロエチレン	0.01		0.001未滿	1	0.001未滿	1		
19	トリクロロエチレン	0.01		0.001未滿	1	0.001未滿	1		
20	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005		0.000001	4	0.000001未滿	4		
21	ベンゼン	0.01		0.001未滿	1	0.001未滿	1		過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します
22	塩素酸	0.6		年4回	0.09	4	0.15		4
23	クロロ酢酸	0.02	0.002未滿		4	0.002未滿	4		
24	クロロホルム	0.06	0.001未滿		4	0.001未滿	4		
25	ジクロロ酢酸	0.03	0.002未滿		4	0.002未滿	4		
26	ジブロモクロロメタン	0.1	0.001未滿		4	0.001未滿	4		
27	臭素酸	0.01	0.006		4	0.001	4		
28	総トリハロメタン	0.1	0.004		4	0.001	4		
29	トリクロロ酢酸	0.03	0.002未滿		4	0.002未滿	4		
30	ブロモジクロロメタン	0.03	0.001未滿		4	0.001未滿	4		
31	ブロモホルム	0.09	0.004		4	0.001未滿	4		
32	ホルムアルデヒド	0.08	0.008未滿		4	0.008未滿	4		
33	亜鉛及びその化合物	1	0.006		1	0.004	1		
34	アルミニウム及びその化合物	0.2	0.005未滿	1	0.005未滿	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します		
35	鉄及びその化合物	0.3	0.024	1	0.047	1			
36	銅及びその化合物	1	0.01未滿	1	0.01未滿	1			
37	ナトリウム及びその化合物	200	48.1	4	66.2	4			
38	マンガン及びその化合物	0.05	0.001未滿	1	0.001	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します		
39	塩化物イオン	200	月1回 年4回 ^{※4}	87.7	12	103	12		
40	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	年4回 年1回 ^{※2} 3年に1回 ^{※3}	19.5	1	15.1	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します	
41	蒸発残留物	500		146	4	209	4		
42	陰イオン界面活性剤	0.2		0.02未滿	1	0.02未滿	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します	
43	ジェオスミン	0.00001	月1回 ^{※5}	0.000001未滿	1	0.000001未滿	1	水源が海水であり、供給点での検出もないため年1回検査します	
44	2-メチルイソボルネオール	0.00001		0.000001未滿	1	0.000001未滿	1		
45	非イオン界面活性剤	0.02	年4回 年1回 ^{※2} 3年に1回 ^{※3}	0.005未滿	1	0.005未滿	1	過去3年間最高値が基準値の1/5以下の項目は年1回検査します	
46	フェノール類	0.005	0.0005未滿	1	0.0005未滿	1			
47	有機物(全有機炭素の量)	3	月1回 年4回 ^{※4}	0.1未滿	12	0.1	12		
48	pH値	5.8~8.6		7.2~8.2	12	6.9~7.9	12		
49	味	異常でない		異常でない	12	異常でない	12		
50	臭気	異常でない		異常でない	12	異常でない	12		
51	色度	5度		1.0	12	1.4	12		
52	濁度	2度		0.2	12	0.1未滿	12		

※1 過去3年間の検査結果を基に省令の検査回数設定基準に照らし合わせた回数(基準値及び省令による検査)

※2 基準値の1/5以下で原水等の変動による汚染の恐れがない場合(水道法施行規則第15条第1項第3号ハ)。

※3 基準値の1/10以下で原水等の変動による汚染の恐れがない場合(同項第3号ハ)。

※4 一定の要件を満たす場合は年4回まで検査回数減が可能(同項第3号イ)。

※5 過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、かつ、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められる場合、省略可能(同項第4号)。

別表3-2 法令に基づく水質検査—水質基準項目【離島供給点 座間味・渡嘉敷・伊平屋・伊是名】

項目 No.	水質基準項目	基準値 (mg/L)	省令による 検査回数 ^{※1}	座間味		渡嘉敷 伊平屋		伊是名	
				過去3年間 (2022-2024) 最高値 (mg/L)	検査計画回数 (回/年) ^{※1}	過去3年間 (2022-2024) 最高値 (mg/L)	検査計画回数 (回/年) ^{※1}	過去3年間 (2022-2024) 最高値 (mg/L)	検査計画回数 (回/年) ^{※1}
1	一般細菌	100個/ml	月1回	-	12	0個/ml	12	6個/ml	12
2	大腸菌	不検出		-	12	不検出	12	不検出	12
3	カドミウム及びその化合物	0.003		-	4	0.0003未満	4	0.0003未満	4
4	水銀及びその化合物	0.0005		-	4	0.00005未満	4	0.00005未満	4
5	セレン及びその化合物	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
6	鉛及びその化合物	0.01		-	4	0.001未満	4	0.006	4
7	ヒ素及びその化合物	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
8	六価クロム化合物	0.02		-	4	0.002未満	4	0.002未満	4
9	亜硝酸態窒素	0.04		-	4	0.004未満	4	0.004未満	4
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10		-	4	0.22	4	0.02	4
12	フッ素及びその化合物	0.8		-	4	0.08未満	4	0.08未満	4
13	ホウ素及びその化合物	1		-	4 ^{※2}	0.03	4	0.75	4 ^{※2}
14	四塩化炭素	0.002		-	4	0.0002未満	4	0.0002未満	4
15	1,4-ジオキサン	0.05		-	4	0.005未満	4	0.005未満	4
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	年4回	-	4	0.004未満	4	0.004未満	4
17	ジクロロメタン	0.02		-	4	0.002未満	4	0.002未満	4
18	テトラクロロエチレン	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
19	トリクロロエチレン	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
20	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005		-	4	0.000001未満	4	0.000001未満	4
21	ベンゼン	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
22	塩素酸	0.6		-	4	0.14	4	0.22	4
23	クロロ酢酸	0.02		-	4	0.002未満	4	0.002未満	4
24	クロロホルム	0.06		-	4	0.001未満	4	0.005	4
25	ジクロロ酢酸	0.03		-	4	0.002未満	4	0.002未満	4
26	ジブロモクロロメタン	0.1		-	4	0.007	4	0.005	4
27	臭素酸	0.01		-	4	0.001未満	4	0.001未満	4
28	総トリハロメタン	0.1		-	4	0.016	4	0.012	4
29	トリクロロ酢酸	0.03		-	4	0.002未満	4	0.002未満	4
30	ブロモジクロロメタン	0.03	-	4	0.002	4	0.005	4	
31	ブロモホルム	0.09	-	4	0.007	4	0.001	4	
32	ホルムアルデヒド	0.08	-	4	0.008未満	4	0.008未満	4	
33	亜鉛及びその化合物	1	-	4	0.005未満	4	0.005未満	4	
34	アルミニウム及びその化合物	0.2	-	4	0.005未満	4	0.005未満	4	
35	鉄及びその化合物	0.3	-	4	0.01未満	4	0.027	4	
36	銅及びその化合物	1	-	4	0.002	4	0.017	4	
37	ナトリウム及びその化合物	200	-	4	11.2	4	57	4	
38	マンガン及びその化合物	0.05	-	4	0.001未満	4	0.001未満	4	
39	塩化物イオン	200	月1回 年4回 ^{※3}	-	12	9.4	12	88.7	12
40	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	年4回	-	4	90.3	4	32.8	4
41	蒸発残留物	500		-	4	117	4	199	4
42	陰イオン界面活性剤	0.2		-	4	0.02未満	4	0.02未満	4
43	ジェオスミン	0.00001	月1回 ^{※4}	-	1 ^{※5}	0.000001未満	12	0.000001未満	12
44	2-メチルイソボルネオール	0.00001		-	1 ^{※5}	0.000001未満	12	0.000001未満	12
45	非イオン界面活性剤	0.02	年4回	-	4	0.005未満	4	0.005未満	4
46	フェノール類	0.005	月1回 年4回 ^{※3}	-	4	0.0005未満	4	0.0005未満	4
47	有機物(全有機炭素の量)	3		-	12	0.1未満	12	1.2	12
48	pH値	5.8~8.6		-	12	7.0~7.6	12	7.6~8.0	12
49	味	異常でない		-	12	異常でない	12	異常でない	12
50	臭気	異常でない		-	12	異常でない	12	異常でない	12
51	色度	5度		-	12	0.5未満	12	0.5未満	12
52	濁度	2度		-	12	0.1未満	12	0.1未満	12

※1 過去3年間において水源の種類、取水地点又は浄水方法に変更があるため検査回数減の対象外
(水道法施行規則第15条第1項第3号ハただし書きには非該当)

※2 ホウ素及びその化合物は濃度が高くなる時期に調査を実施

※3 一定の要件を満たす場合は年4回まで検査回数減が可能(同項第3号イ)。

※4 過去の検査結果が基準値の2分の1を超えたことがなく、かつ、原水並びに水源及びその周辺の状況を勘案し、検査を行う必要がないことが明らかであると認められる場合、省略可能(同項第4号)。

※5 水源である海水についてカビ臭物質を産出する藻類の発生が少なく、供給点においても検出されていないため、年1回検査を実施

別表4 独自に行う水質検査—水質基準項目【浄水場】

	水質基準項目	検査計画回数(回/年)					
		浄水場					
		名護 石川 西原	北谷	久志		※2 離島浄水場 (海水系)	※3 離島浄水場 (陸水系)
	入口	入口	出口※1	入口	入口	入口	
1	一般細菌	12	12	4	4	1	4
2	大腸菌	12	12	4	4	1	4
3	カドミウム及びその化合物	4	4	4	4	1	1
4	水銀及びその化合物	4	4	4	4	1	1
5	セレン及びその化合物	4	4	4	4	1	1
6	鉛及びその化合物	4	4	4	4	1	1
7	ヒ素及びその化合物	4	4	4	4	1	1
8	六価クロム化合物	4	4	4	4	1	1
9	亜硝酸態窒素	4	4	4	4	1	1
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	4	4	4	4	1	1
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	4	4	4	4	1	1
12	フッ素及びその化合物	4	4	4	4	1	1
13	ホウ素及びその化合物	4	4	4	4	1	1
14	四塩化炭素	4	4	4	4	1	1
15	1,4-ジオキサン	4	4	4	4	1	1
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	4	4	4	4	1	1
17	ジクロロメタン	4	4	4	4	1	1
18	テトラクロロエチレン	4	4	4	4	1	1
19	トリクロロエチレン	4	4	4	4	1	1
20	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	4	12	1	1	1	1
21	ベンゼン	4	4	4	4	1	1
22	塩素酸	-	-	-	-	-	-
23	クロロ酢酸	-	-	-	-	-	-
24	クロロホルム	-	-	-	-	-	-
25	ジクロロ酢酸	-	-	-	-	-	-
26	ジブロモクロロメタン	-	-	-	-	-	-
27	臭素酸	-	-	-	-	-	-
28	総トリハロメタン	-	-	-	-	-	-
29	トリクロロ酢酸	-	-	-	-	-	-
30	ブロモジクロロメタン	-	-	-	-	-	-
31	ブロモホルム	-	-	-	-	-	-
32	ホルムアルデヒド	-	-	-	-	-	-
33	亜鉛及びその化合物	4	4	4	4	1	1
34	アルミニウム及びその化合物	4	4	4	4	1	1
35	鉄及びその化合物	4	4	12	12	1	4
36	銅及びその化合物	4	4	4	4	1	1
37	ナトリウム及びその化合物	4	4	4	4	1	1
38	マンガン及びその化合物	4	4	12	12	1	4
39	塩化物イオン	12	12	12	12	1	4
40	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	4	12	12	12	1	4
41	蒸発残留物	1	1	12	1	1	1
42	陰イオン界面活性剤	4	4	4	4	1	1
43	ジェオスミン	12	12	12	12	1	12
44	2-メチルインボルネオール	12	12	12	12	1	12
45	非イオン界面活性剤	4	4	4	4	1	1
46	フェノール類	4	4	4	4	1	1
47	有機物(全有機炭素の量)	12	12	12	12	1	12
48	pH値	-	12	12	12	1	12
49	味	-	-	-	-	-	-
50	臭気	12	12	12	12	1	12
51	色度	12	12	12	12	1	12
52	濁度	12	12	12	12	1	12

※1 久志出口は沈澱処理のみ

※2 離島浄水場(海水系)とは粟国、北大東、南大東、座間味、阿嘉及び伊是名(海水系)のこと
原則委託検査で実施する。

※3 離島浄水場(陸水系)とは渡嘉敷、伊平屋及び伊是名(陸水系)のこと

別表5 独自に行う水質検査—水質基準項目【本島の水源】

水質基準項目	検査計画回数(回/年) ^{※1}												
	河川				増圧ポンプ場		ダム			井戸	北谷浄水場		
	※2 北部10河川 西屋部 満名	平南 源河	我部祖河 外堀田	天願 比謝 長田	根路銘	許田	福地	大保 羽地	金武	漢那 倉敷 山城	嘉手納 井戸群	硬度低減化 施設	海水 淡水化 センター (出口)
											入口	出口	
1 一般細菌	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
2 大腸菌	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
3 カドミウム及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4 水銀及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5 セレン及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6 鉛及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7 ヒ素及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8 六価クロム化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9 亜硝酸態窒素	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12 フッ素及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
13 ホウ素及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14 四塩化炭素	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
15 1,4-ジオキサン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
17 ジクロロメタン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
18 テトラクロロエチレン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19 トリクロロエチレン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタネン酸(PFOA)	1	1	-	12	1	1	1	4	4	1	12	12	1
21 ベンゼン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
22 塩素酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
23 クロロ酢酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
24 クロロホルム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
25 ジクロロ酢酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
26 ジブromクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
27 臭素酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
28 総トリハロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
29 トリクロロ酢酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
30 ブロモジクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
31 ブロモホルム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
32 ホルムアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
33 亜鉛及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
34 アルミニウム及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
35 鉄及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
36 銅及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
37 ナトリウム及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
38 マンガン及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
39 塩化物イオン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
40 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	1	1	-	12	1	1	1	1	1	1	-	12	12
41 蒸発残留物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
42 陰イオン界面活性剤	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
43 ジェオスミン	1	12	-	1	12	1	1	12	12	1	-	1	1
44 2-メチルイソボルネオール	1	12	-	1	12	1	1	12	12	1	-	1	1
45 非イオン界面活性剤	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
46 フェノール類	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
47 有機物(全有機炭素の量)	1	1	-	12	12	1	12	12	12	4	1	1	1
48 pH値	1	12	1	12	12	12	12	12	12	4	1	12	12
49 味	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 臭気	1	12	1	12	12	12	12	12	12	4	1	12	12
51 色度	1	12	-	12	12	12	12	12	12	4	1	12	12
52 濁度	1	12	-	12	12	12	12	12	12	4	1	12	12

※1取水状況および施設の稼働状況によって検査回数を変更する可能性あり

※2北部10河川とは、武見・座津武・宇嘉・辺野喜・佐手・佐手前・与那・宇良・比地・田嘉里の総称

別表6 独自に行う水質検査—水質基準項目【離島の水源】

	水質基準項目	検査計画回数(回/年) ^{※1}							
		渡嘉敷浄水場			伊平屋浄水場			伊是名浄水場	
		イシッピ取水堰	恩納川取水堰	大川取水堰	我喜屋ダム	第1取水井戸	第2取水井戸	天城ダム	メンナー山貯水池
1	一般細菌	1	1	1	1	1	1	1	1
2	大腸菌	1	1	1	1	1	1	1	1
3	カドミウム及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
4	水銀及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
5	セレン及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
6	鉛及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
7	ヒ素及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
8	六価クロム化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
9	亜硝酸態窒素	1	1	1	1	1	1	1	1
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	1	1	1	1	1	1	1	1
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	1	1	1	1	1	1	1	1
12	フッ素及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
13	ホウ素及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
14	四塩化炭素	1	1	1	1	1	1	1	1
15	1,4-ジオキサン	1	1	1	1	1	1	1	1
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	1	1	1	1	1	1	1	1
17	ジクロロメタン	1	1	1	1	1	1	1	1
18	テトラクロロエチレン	1	1	1	1	1	1	1	1
19	トリクロロエチレン	1	1	1	1	1	1	1	1
20	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタノ酸(PFOA)	1	1	1	1	1	1	1	1
21	ベンゼン	1	1	1	1	1	1	1	1
22	塩素酸	-	-	-	-	-	-	-	-
23	クロロ酢酸	-	-	-	-	-	-	-	-
24	クロロホルム	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ジクロロ酢酸	-	-	-	-	-	-	-	-
26	ジブromクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-
27	臭素酸	-	-	-	-	-	-	-	-
28	総トリハロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-
29	トリクロロ酢酸	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ブromジクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	-
31	ブromホルム	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ホルムアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-
33	亜鉛及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
34	アルミニウム及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
35	鉄及びその化合物	4	4	4	4	4	4	4	4
36	銅及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
37	ナトリウム及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1
38	マンガン及びその化合物	4	4	4	4	4	4	4	4
39	塩化物イオン	4	4	4	4	4	4	4	4
40	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	4	4	4	4	4	4	4	4
41	蒸発残留物	1	1	1	1	1	1	1	1
42	陰イオン界面活性剤	1	1	1	1	1	1	1	1
43	ジェオスミン	4	4	4	4	4	4	4	4
44	2-メチルイソボルネオール	4	4	4	4	4	4	4	4
45	非イオン界面活性剤	1	1	1	1	1	1	1	1
46	フェノール類	1	1	1	1	1	1	1	1
47	有機物(全有機炭素の量)	4	4	4	4	4	4	4	4
48	pH値	4	4	4	4	4	4	4	4
49	味	-	-	-	-	-	-	-	-
50	臭気	4	4	4	4	4	4	4	4
51	色度	4	4	4	4	4	4	4	4
52	濁度	4	4	4	4	4	4	4	4

※1 取水状況および施設の稼働状況によって検査回数を変更する可能性あり

別表7 独自に行う水質検査—水質管理目標設定項目【供給点、浄水場】

項目No.	水質管理目標設定項目	目標値 (mg/L) (P:暫定)	検査計画回数(回/年)						
			供給点		浄水場				
			本島	離島8地点※3	名護 石川 北谷 西原		久志		※5 離島浄水場 (陸水系)
出口	入口	出口※4			入口	入口			
1	アンチモン及びその化合物	0.02	-	1	4	4	1	1	1
2	ウラン及びその化合物	0.002P	-	1	4	4	1	1	1
3	ニッケル及びその化合物	0.02	4	1	4	4	1	1	1
4	削除								
5	1,2-ジクロロエタン	0.004	-	1	4	4	1	1	1
6	削除								
7	削除								
8	トルエン	0.4	-	1	4	4	1	1	1
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08	-	1	4	4	1	1	1
10	亜塩素酸	0.6	二酸化塩素を使用していないため省略						
11	削除								
12	二酸化塩素	0.6	二酸化塩素を使用していないため省略						
13	ジクロロアセトニトリル	0.01P	4	1	4	-	-	-	-
14	抱水クロラール	0.02P	4	1	4	-	-	-	-
15	農薬類	1※1	-	1	4	4	1	1	1
16	残留塩素	1	12	12	12	-	-	-	-
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10~100	別表2 参照	別表3-1, 3-2 参照※6	別表2 参照	別表4 参照			別表4 参照
18	マンガン及びその化合物	0.01	別表2 参照	別表3-1, 3-2 参照※6	別表2 参照	別表4 参照			別表4 参照
19	遊離炭酸	20	-	1	4	-	-	-	1
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3	-	1	4	4	1	1	1
21	メチル-tert-ブチルエーテル	0.02	-	1	4	4	1	1	1
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3	-	1	4	-	-	-	-
23	臭気強度(TON)	3	異常な臭気(かび、油、薬品臭等)が確認された場合に実施						
24	蒸発残留物	30~200	別表2 参照	別表3-1, 3-2 参照※6	別表2 参照	別表4 参照			別表4 参照
25	濁度	1度	別表2 参照	別表3-1, 3-2 参照※6	別表2 参照	別表4 参照			別表4 参照
26	pH値	7.5程度							
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1~0	-	4	4	-	4	-	-
28	従属栄養細菌	2,000P※2	4	1	-	-	-	-	-
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1	-	1	4	4	1	1	1
30	アルミニウム及びその化合物	0.1	別表2 参照	別表3-1, 3-2 参照※6	別表2 参照	別表4 参照			別表4 参照
31	削除								

※1 各農薬の検出値と目標値の比の総和で、単位なし

※2 1mlの検水で形成される集落数が2,000以下(暫定)

※3 離島8地点は、粟国、南大東、北大東、渡嘉敷、座間味、阿嘉、伊平屋及び伊是名の総称

※4 久志出口は沈澱処理のみ

※5 離島浄水場(陸水系)とは渡嘉敷、伊平屋及び伊是名(陸水系)のこと

※6 粟国、南大東、北大東、阿嘉は別表3-1、座間味、渡嘉敷、伊平屋、伊是名は別表3-2参照

別表8 独自に行う水質検査—水質管理目標設定項目【本島の水源】

項目 No.	水質管理目標設定項目	検査計画回数(回/年) ^{※1}												
		河川				増圧ポンプ場		ダム			井戸	北谷浄水場		
		※2 北部10河川 西屋部 満名	平南 源河	我部祖河 外堀田	天願 比謝 長田	根路銘	許田	福地	大保 羽地 漢那 倉敷	金武 山城	嘉手納 井戸群	硬度低減化 施設	海水 淡水化 センター	入口
1	アンチモン及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	ウラン及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1
3	ニッケル及びその化合物	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	削除													
5	1,2-ジクロロエタン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	削除													
7	削除													
8	トルエン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	1	1	-	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1
10	亜塩素酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	削除													
12	二酸化塩素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ジクロロアセトニトリル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	抱水クロラール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	農薬類	1	1	-	4	4	1	1	1	4	-	-	1	1
16	残留塩素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	別表5参照												
18	マンガン及びその化合物													
19	遊離炭酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	1,1,1-トリクロロエタン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
21	メチルセブチルエーテル	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	臭気強度(TON)	異常な臭気(かび、油、薬品臭)が確認された場合に実施												
24	蒸発残留物	別表5参照												
25	濁度													
26	pH値													
27	腐食性(ランゲリア指数)													
28	従属栄養細菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	1,1-ジクロロエチレン	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
30	アルミニウム及びその化合物	別表5参照												
31	削除													

※1 取水状況および施設の稼働状況によって検査回数を変更する可能性あり

※2 北部10河川とは、武見・座津武・宇嘉・辺野喜・佐手・佐手前・与那・宇良・比地・田嘉里の総称

別表9 独自に行う水質検査—水質管理目標設定項目【離島の水源】

項目 No.	水質管理目標設定項目	検査計画回数(回/年) ^{※1}								
		渡嘉敷浄水場			伊平屋浄水場			伊是名浄水場		
		イシッピ 取水堰	恩納川 取水堰	大川 取水堰	我喜屋ダム	第1取水井戸	第2取水井戸	天城ダム	メンナー山 貯水池	
1	アンチモン及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	
2	ウラン及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	
3	ニッケル及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	
4	削除									
5	1,2-ジクロロエタン	1	1	1	1	1	1	1	1	
6	削除									
7	削除									
8	トルエン	1	1	1	1	1	1	1	1	
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	亜塩素酸	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	削除									
12	二酸化塩素	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	ジクロロアセトニトリル	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	抱水クロラール	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	農薬類	1	1	1	1	1	1	1	1	
16	残留塩素	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	別表6参照								
18	マンガン及びその化合物									
19	遊離炭酸	1	1	1	1	1	1	1	1	
20	1,1,1-トリクロロエタン	1	1	1	1	1	1	1	1	
21	メチルセブチルエーテル	1	1	1	1	1	1	1	1	
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	臭気強度(TON)	異常な臭気(かび、油、薬品臭等)が確認された場合に実施								
24	蒸発残留物	別表6参照								
25	濁度									
26	pH値									
27	腐食性(ランゲリア指数)								-	-
28	従属栄養細菌	-	-	-	-	-	-	-	-	
29	1,1-ジクロロエチレン	1	1	1	1	1	1	1	1	
30	アルミニウム及びその化合物	別表6参照								
31	削除									

※1 取水状況および施設の稼働状況によって検査回数を変更する可能性あり

別表10 その他必要項目【供給点・浄水場】

項目No.	その他必要項目	検査計画回数(回/年)										
		供給点			浄水場							
		本島	粟国 南大東 北大東 阿嘉 座間味 伊是名	渡嘉敷 伊平屋	名護 石川 西原		北谷		久志		※2 離島浄水場 (陸水系)	
出口	入口				出口	入口	出口※1	入口	入口			
1	導電率	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
2	アルカリ度	-	4	4	4	12	4	12	12	12	1	
3	カルシウム硬度	-	4	4	4	4	4	4	4	4	-	
4	カリウム及びその化合物	-	-	-	4	4	4	4	4	4	-	
5	アンモニア態窒素	-	-	-	-	4	-	4	4	4	1	
6	臭化物イオン	-	4	-	4	4	4	4	4	4	4	
7	リン酸イオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
8	硫酸イオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
9	溶存酸素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	塩素要求量	-	-	-	-	12	-	12	12	12	12	
11	トリハロメタン生成能	-	-	-	-	12	-	12	12	12	4	
12	クロロホルム生成能	-	-	-	-	12	-	12	12	12	4	
13	ブロモジクロロメタン生成能	-	-	-	-	12	-	12	12	12	4	
14	ジブロモクロロメタン生成能	-	-	-	-	12	-	12	12	12	4	
15	ブromoホルム生成能	-	-	-	-	12	-	12	12	12	4	
16	ジクロロ酢酸生成能	-	-	-	-	4	-	4	4	4	4	
17	トリクロロ酢酸生成能	-	-	-	-	4	-	4	4	4	4	
18	クロロ酢酸生成能	-	-	-	-	4	-	4	4	4	4	
19	要検討PFAS	ペルフルオロブタンスルホン酸(PFBS)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
		ペルフルオロヘキサスルホン酸(PFHxS)	-	4	4	4	4	12	12	1	1	-
		ペルフルオロブタン酸(PFBA)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
		ペルフルオロペンタン酸(PFPeA)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
		ペルフルオロヘキサン酸(PFHxA)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
		ペルフルオロヘプタン酸(PFHpA)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
		ペルフルオロノナン酸(PFNA)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
		ヘキサフルオロプロピレンオキシンドダイマー酸(HFPO—DA)	-	-	-	4	4	4	4	1	1	-
20	クリプトスポリジウム	-	-	-	-	4	-	4	-	1	1	
21	ジアルジア	-	-	-	-	4	-	4	-	1	1	
22	嫌気性芽胞菌	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	
23	水温	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	

※1 久志出口は沈澱処理のみ

※2 伊是名の入口については、陸水系のみ実施

別表11 その他必要項目【本島の水源】

項目 No.	その他必要項目	検査計画回数(回/年) ^{※1}															
		河川					増圧ポンプ場		ダム				井戸	北谷浄水場			
		※2 北部10河川 西屋部 満名	平南	源河	我部祖河 外堀田	天願 比謝 長田	根路銘	許田	福地	大保 羽地	金武	漢那 倉敷 山城	嘉手納 井戸群	硬度低減化 施設		海水 淡水化 センター	
												入口	出口	出口			
1	導電率	1	12	12	1	12	12	12	12	12	12	4	1	12	12	1	
2	アルカリ度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	カルシウム硬度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	1	
4	カリウム及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	アンモニア態窒素	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	臭化物イオン	1	1	1	-	4	12	1	12	12	12	4	-	-	-	1	
7	リン酸イオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	硫酸イオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	溶存酸素	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	塩素要求量	1	12	12	-	12	12	12	12	12	12	4	-	1	1	-	
11	トリハロメタン生成能	1	1	1	-	4	4	1	4	4	4	4	-	-	-	-	
12	クロロホルム生成能	1	1	1	-	4	4	1	4	4	4	4	-	-	-	-	
13	ブロモジクロロメタン生成能	1	1	1	-	4	4	1	4	4	4	4	-	-	-	-	
14	ジブロモクロロメタン生成能	1	1	1	-	4	4	1	4	4	4	4	-	-	-	-	
15	ブロモホルム生成能	1	1	1	-	4	4	1	4	4	4	4	-	-	-	-	
16	ジクロロ酢酸生成能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	トリクロロ酢酸生成能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18	クロロ酢酸生成能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19	要検討 PFAS	ペルフルオロブタンスルホン酸(PFBS)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
		ペルフルオロヘキサスルホン酸(PFHxS)	-	-	-	-	12	-	-	-	-	4	4	-	12	12	-
		ペルフルオロブタン酸(PFBA)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
		ペルフルオロペンタン酸(PFPeA)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
		ペルフルオロヘキサ酸(PFHxA)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
		ペルフルオロヘプタン酸(PFHpA)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
		ペルフルオロノナン酸(PFNA)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
		ヘキサフルオロプロピレンオキシドダイマー酸(HFPO—DA)	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
20	クリプトスポリジウム	1	4	1	-	1 ^{※3}	1	1	1	1	1	1	※4	1	-	-	
21	ジアルジア	1	4	1	-	1 ^{※3}	1	1	1	1	1	1	※4	1	-	-	
22	嫌気性芽胞菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	水温	1	12	12	1	12	12	12	12	12	12	4	1	12	12	1	

※1 取水状況および施設の稼働状況によって検査回数を変更する可能性あり

※2 北部10河川とは、武見・座津武・宇嘉・辺野喜・佐手・佐手前・与那・宇良・比地・田嘉里の総称

※3 天願及び比謝は、取水している期間においておおむね1か月に1回検査する

※4 硬度低減化施設入口で検出された場合、嘉手納井戸群各井戸で適宜実施

別表12 その他必要項目【離島の水源】

項目 No.	その他必要項目	検査計画回数(回/年) ^{※1}							
		渡嘉敷浄水場			伊平屋浄水場			伊是名浄水場	
		イシッピ 取水堰	恩納川 取水堰	大川 取水堰	我喜屋ダム	第1取水井戸	第2取水井戸	天城ダム	メンナー山 貯水池
1	導電率	4	4	4	4	4	4	4	4
2	アルカリ度	1	1	1	1	1	1	1	1
3	カルシウム硬度	-	-	-	-	-	-	-	-
4	カリウム及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アンモニア態窒素	1	1	1	1	1	1	1	1
6	臭化物イオン	1	1	1	1	1	1	1	1
7	リン酸イオン	1	1	1	1	1	1	1	1
8	硫酸イオン	1	1	1	1	1	1	1	1
9	溶存酸素	-	-	-	-	-	-	-	-
10	塩素要求量	4	4	4	4	4	4	4	4
11	トリハロメタン生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
12	クロロホルム生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
13	ブロモジクロロメタン生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
14	ジブロモクロロメタン生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
15	ブロモホルム生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
16	ジクロロ酢酸生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
17	トリクロロ酢酸生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
18	クロロ酢酸生成能	4	4	4	4	4	4	4	4
19	要検討PFAS	ペルフルオロブタンスルホン酸(PFBs)	-	-	-	-	-	-	-
		ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)	-	-	-	-	-	-	-
		ペルフルオロブタン酸(PFBA)	-	-	-	-	-	-	-
		ペルフルオロペンタン酸(PFPeA)	-	-	-	-	-	-	-
		ペルフルオロヘキサン酸(PFHxA)	-	-	-	-	-	-	-
		ペルフルオロヘプタン酸(PFHpA)	-	-	-	-	-	-	-
		ペルフルオロノナン酸(PFNA)	-	-	-	-	-	-	-
		ヘキサフルオロプロピレンオキシドダイマー酸(HFPO-DA)	-	-	-	-	-	-	-
20	クリプトスポリジウム	1	1	1	1	1	1	1	1
21	ジアルジア	1	1	1	1	1	1	1	1
22	嫌気性芽胞菌	-	-	-	-	-	-	-	-
23	水温	4	4	4	4	4	4	4	4

※1 取水状況および施設の稼働状況によって検査回数を変更する可能性あり